

イチゴ小葉の炭疽病による赤色小斑の発生と防除対策

愛媛県農林水産部 農業振興局 農産園芸課 **奈 尾 まさひろ 浩**

はじめに

イチゴ炭疽病が難防除病害とされる要因は、現在の作付け品種と栽培環境にある。作付け品種の要因には、愛媛県内でも1980年代後半に品種更新された‘女峰’（赤木ら, 1985）、1990年代後半から順次導入された‘さちのか’（森下ら, 1997）、‘紅ほっぺ’（竹内ら, 1999）等が、いずれも炭疽病に対する罹病性が高いことがある。一方、栽培環境の要因には、小型ポットを利用した育苗システムでは1ポット当たりの培土量が少なく軽量化されている分、3～4回/日の頭上灌水が必要とされ、本病の発生を助長する多湿環境となりやすいことが挙げられ、適切な防除対応が必須となっている。

2013～14年、愛媛県内で露地育苗されているイチゴ小葉に見られた赤色小斑（口絵①）からイチゴ炭疽病菌の特徴を有するカビが30.0～81.8%の割合で分離されることを確認した。この赤色小斑は大きさ1～3mmで葉表側から葉裏側へ病斑が突き抜けており、2013年の接種試験の際、初めて着目した症状（口絵②）となる（奈尾, 2013）。従来から小葉で確認される病斑は表面的に発症する汚斑症状（山本, 1971）と葉縁から生じる大型病斑（石川, 2005）であり、赤色小斑とは明らかに異なる。本稿では赤色小斑から分離された炭疽病菌の所属、発症条件に検討を加えた結果と防除対策について述べる。

I 現地調査における病徴観察

2013年10月に品種‘レッドパール’（芝, 2012）、同年10月と2014年8月に品種‘紅ほっぺ’の露地圃場で赤色小斑を有する小葉を観察した。調査圃場では、いずれも小型ポットを利用して高設育苗されており、汚斑症状や、病斑による葉柄の折損など炭疽病が発生していることを確認した。2013年10月確認の‘レッドパール’、‘紅ほっぺ’が栽植された圃場では、本病の発生最盛期（8～9月）を勘案すると発症から日数が経過していたとみ

られ、褐色に変化し、斑点内部が白変する症状もあった。これに対して、2014年8月確認の‘紅ほっぺ’では発生初期の赤色小斑であった。表-1に示す通り、赤色小斑の供試切片から炭疽病菌の特徴を示す菌は、2013年10月の検定では30.0～50.0%、2014年8月には81.8%の割合で分離された。なお、2013年10月に分離された他菌種の *Alternaria* 属菌、*Chaetomium* 属菌は、低率の分離頻度からみて二次寄生菌であり病原性はないと判断した。ところで、小葉で赤色小斑と大きさが同等となる汚斑症状は、SMITH (2008) が、えそを示さないこと、KIM et al. (1992) や秋田 (2001) が、葉表のみで葉裏まで病勢進展しないことを観察している。今回確認された赤色小斑は、えそ部分を生じており（口絵①）、葉表側から葉裏側まで病斑が突き抜け、汚斑症状の特徴とは明らかに異なっていた。

II 分離菌の形態観察による同定

2014年8月の赤色小斑からR-1菌株、R-2菌株を、対照菌株として、同圃場より採取した汚斑症状からB-1菌株、B-2菌株を得た。この4菌株を供試し、ジャガイモブドウ糖寒天培地（PDA培地）をプラスチックシャーレに分注し固化させたものに移植して12時間近紫外線照射＋12時間暗黒下の25℃で培養し、分生子の形態などを既報の文献と比較調査した。また、ジャガイモ・ニンジン寒天培地（PCA培地、ジャガイモ・ニンジン各20g/lの煎汁液、寒天粉末18g/l）によるスライドカルチャーで形成させた付着器の形態も併せて調査した。その結果、分生子は単胞、円筒形、両端鈍円であった（図-1）。大きさはR-1菌株が13.0～20.0×5.6～8.0μm、

表-1 異なる圃場のイチゴ小葉の赤色小斑からの分離菌

採集年月	品種名	供試 切片数	対象菌が分離された切片割合 (%)		
			炭疽病菌	他の菌種	未分離
2013年10月	レッド パール	20	30.0	20.0	45.0
	紅ほっぺ	12	50.0	0	50.0
2014年8月	紅ほっぺ	11	81.8	0	18.2

他の菌種は、*Alternaria*、*Chaetomium* 属菌。

Occurrence and Countermeasure of the New Symptom ‘Reddish Small Spot’ Caused by *Colletotrichum gloeosporioides sensu lato* on the Field-grown Strawberry Leaflets. By Masahiro Nao

(キーワード：イチゴ炭疽病、育苗床、局部病斑)